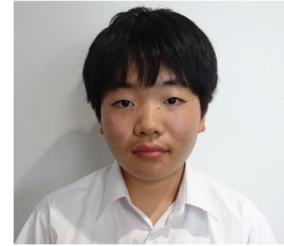


題名 かつての惨劇を目の当たりにして

鹿沼市立北中学校 (氏名) 青柳 颯真



今回、広島に行って感じたことは、何より「驚き」でした。

実際、広島のに足を踏み入れた際に、宇都宮と比べて木が多いというところに気が付きました。もう既にこの時点で、広島に住む人々の思いや、力を感じ取りました。特に印象に残ったのは資料館です。何より驚いたのは、原爆は、人々の命、生活を奪うだけでなく、社会の居場所ですらも、一瞬にして奪ってしまう、惨劇を生み出す兵器なんだということに気付いたことでした。

「水をください」と叫ぶ女の子、変色し、ふくれた死体、熱によってただれた皮膚を見て、どれを見ても心が痛みました。本当に、貴重な体験だったと思います。この経験を含めて、戦争に対する思いを次世代に繋げたいと思います。